

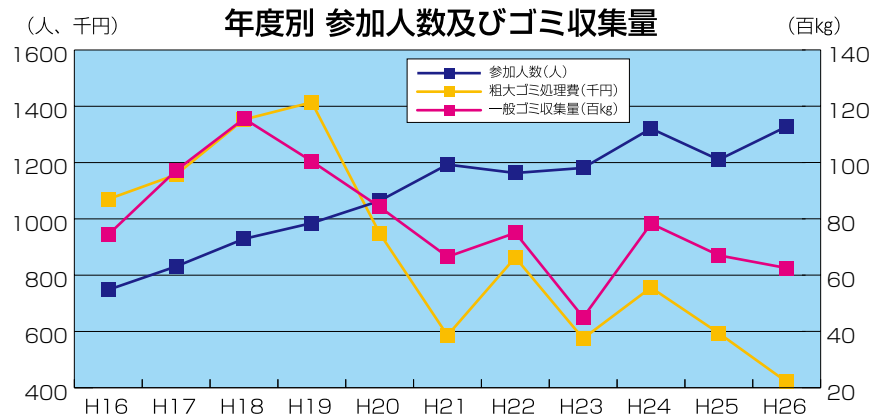
電田郷一斉清掃の開催

6月1日(日)に12回目となる亀田郷一斉清掃が亀田郷不法投棄対策連絡協議会（会長：山我理事長）の主催により実施されました。過去最高となる1328名が参加し、高速道路沿線や各工区で決定した水路・道路など亀田郷全域で17班に分かれ作業が行われました。

収集されたゴミは、燃えるゴミ4.2トン、不燃ゴミ2.0トン、粗大ゴミは、タイヤ108本、テレビ27台、自転車10台などで年々減る傾向にあります。燃えるゴミ・不燃ゴミは新潟市から無料で処分いただいておりますが、粗大ゴミの処分費用は、新潟市・東日本高速道路株式会社・亀田郷土地改良区の三者で負担しています。今年が一番多かった平成19年に比べ処分費用は3分の1以下となりましたが、まだまだ大きな金額となっています。

それから今回は、これまで課題となっていたゴミの分別徹底に取り組んでいただいた結果、特に搬入施設でのトラブルもなく終わることが出来ました。参加いただいた皆様に感謝申し上げます。

不法投棄のない地域を目指し、引き続き組合員の皆様からご支援ご協力をお願いします。



シンポジウムは、篠田新潟市長、森副知事、三富県土連会長、農林水産省・国土交通省OB、新潟・亀田商工会議所会頭、県内大学の学長、亀田郷土地改良区山我理事長など各界の方々が呼びかけ人となり、亀田郷土地改良区／五十嵐前理事長、食の新潟国際賞財団／古泉理事長、新潟日報社／高橋前社長が代表を

した。この時代にあつて、氏が心血を傾けた諸々の事業や投げ所となった農業立国的な思想が、人々の記憶からうすれかけてきた様に思われるいま、氏が向き合った課題をシンポジウムに蘇らせ、今日的な意義や有効性について議論と検証を試み、佐野藤三郎氏の生きた記憶をこれからの時代を担う若い人々が継承していくことを期待して開催されました。

佐野元理事長が急逝されて、ちょうど20年目の節目に当たり、7月26日新潟グランドホテルで、「遙かなる水郷から世界の食の都へ」と題して、シンポジウムが開催されました。

佐野藤三郎記念シンポジウム 開催される



務め、実行委員会を立ち上げ実施されました。当日は、氏と同じ時代を生き共に行動されたゆかりのあつた方々や、名前ぐらいいし知らない学生など、予定を大幅に上回る400名近くが参加されました。

シンポジウムは、亀田郷の土地改良事業と農業問題、中国三江平原農業開発と国際交流、鳥屋野潟とまちづくり、会場からの未来に向けての意見の4部構成で、コーディネーターは60周年記念誌発刊に当たり、佐野藤三郎氏の章を執筆された元新潟日報編集委員の望月迪洋氏が担当し、パネリストの皆さんが氏の功績と人間的魅力を振り返りながらこれからの新潟の未来と次世代への期待などが語り合われました。

4月22日	監事会
23日	事業部会
23日	総務部会
5月14日	理事会
20日	亀田郷不法投棄対策連絡協議会幹事会
20日	中期計画組織財務担当理事会議
22日	理事會
22日	親松排水機場管理運営委員会
22日	中期計画事業維持管理担当理事會議
6月1日	監事會
9日	亀田郷一斉清掃工事・機場監査
9日	中期計画組織財務担当理事會議
10日	事業部會
12日	中期計画事業維持管理担当理事會議
19日	総務部會
19日	監事會
25日	監事會（決算監査）
27日	中期計画組織財務担当理事會議
27日	中期計画事業維持管理担当理事會議
2日	理事會
8日	新潟市土地基盤整備促進協議会北陸農政局訪問
8日	工事入札臨時総代会
11日	監事會
18日	中期計画組織財務担当理事會議
24日	佐野藤三郎記念シンポジウム
26日	中期計画事業維持管理担当理事會議
29日	新潟市土地基盤整備促進協議会農林水産省訪問
4日	北陸農政局提案要望
5日	中期計画合同會議
20日	監事會
27日	環境用水利活用促進部會
19日	監事會
24日	理事会
25日	施設管理事業推進協議会研究會
26日	全国土地改良

短 信